

国際スポーツ大会等の誘致・開催状況について

1 主な国際スポーツ大会等の誘致・開催状況

競技レベルの高い試合等を観戦することは、観戦者に夢や感動を与えるとともにスポーツへの関心や意欲を高める。また、まちの知名度やイメージアップのほか、集客力向上等に伴う経済効果を生み、シビックプライドの醸成やまちのにぎわいづくりに寄与するため、本市では各種国際スポーツ大会の誘致・開催に力を入れている。

年度	誘致・開催状況（令和4年度以降）
令和4年度	◇ ラグビー日本代表「リポビタンDチャレンジカップ 2022」 日本対ウルグアイ（6月） ◇ ATTU 第31回東アジアホープス卓球大会（12月） ◇ WDSF Breaking for Gold World Series in 北九州（2月）
令和5年度	◇ サッカー女子日本代表国際親善試合 日本対アルゼンチン（9月） ◇ マイナビ ツール・ド・九州 2023（10月） ◇ 北九州アーバンスポーツフェスティバル 2024（3月） ◇ サッカーU-23 日本代表国際親善試合 日本対ウクライナ（3月）
令和6年度	◇ ラグビー女子7人制 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ 2024（4月） ◇ バレーボールネーションズリーグ 2024 福岡大会（6月） ◇ ラグビー女子15人制 太陽生命 JAPAN RUGBY CHALLENGE SERIES 2024 日本代表対アメリカ代表（8月） ◇ 2024 体操ニッポン GALA in 北九州（9月） ◇ マイナビ ツール・ド・九州 2024 小倉城クリテリウム（10月） ◇ 第2回 FIG パルクール世界選手権・北九州（11月） ◇ 第1回 FIG パルクールジュニア世界選手権・北九州（11月） ◇ 卓球 WTT 男女ファイナルズ福岡 2024（11月） ◇ Breaking World Match 2025 日韓対抗戦（2月）
令和7年度	◇ ラグビー男子15人制 リポビタンDチャレンジカップ 2025 日本代表対ウェールズ代表（7月） ◇ ラグビー女子15人制 太陽生命 JAPAN RUGBY CHALLENGE SERIES 2025 日本代表対スペイン代表（7月） ◇ ラグビー女子7人制 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ 2025（7月） ◇ ワールドスケートボードストリート 2025 北九州 - グランドファイナル -（11月） ◇ NEXUS Presents 高円宮杯フェンシングワールドカップ 2025（12月）
令和8年度	◇ ラグビー早明戦 2026 北九州大会（6月） ◇ ラグビー女子7人制 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ 2026（7月） ◇ アジア男子バレーボール選手権大会 福岡 2026（9月） ◇ 第6回世界身体障害者野球日本大会（11月）

ラグビー早明戦 2026 北九州大会

開催日時	令和8年6月7日（日） 13：00 キックオフ
会 場	ミクニワールドスタジアム北九州（北九州スタジアム）
試合結果	早稲田大学 28 - 24 明治大学
観 客 数	7,775人

【概要結果】

ラグビー「関東大学春季交流大会」の一戦として、早稲田大学と明治大学の試合が北九州市で初めて開催され、市内外から7,775人もの観客が来場した。

大学ラグビー界で最も長い歴史を誇る「ラグビー早明戦」は、1923年12月24日に初対戦以来、100年以上続く伝統的な対決である。大学ラグビー界のトップを走り続ける両校の試合は、早稲田大学が2026年1月の大学選手権決勝の雪辱を晴らす結果となった。

また、試合前には次世代の育成を目的とした両校OBによる子どもラグビー教室が行われた。

【本市の取組み】

市内の大学やスポーツ施設、観光案内所などにチラシを配布、北九州モノレール各駅や小倉駅構内にポスター掲示、小倉駅ペDESTリアンデッキへのバナー掲出、本庁舎や各区役所のビジョン、小倉駅等のサイネージでのPR映像放映、SNSや広報誌での情報発信を行った。

また、大会の機運醸成として小倉祇園太鼓像に両校のジャージを着せる「ジャージドレッシングセレモニー」も行った。



ジャージドレッシングの様子



試合前の様子



試合の様子

今後の国際スポーツ大会等について

1. ラグビー女子7人制 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ 2026 第3戦北九州大会

●女子の7人制ラグビーの日本一を決定する大会。

●熊谷大会（第1戦）、栃木大会（第2戦）、札幌大会（グランドファイナル）の計4戦開催。

開催日時	令和8年7月25日（土）～26日（日）
会場	ミクニワールドスタジアム北九州（北九州スタジアム）
主催	日本ラグビーフットボール協会
参加チーム数	12チーム

2. アジア男子バレーボール選手権大会 福岡 2026

●男子バレーボールのアジア NO.1 を決める大会。

●優勝国には、2028年のロサンゼルスオリンピックの出場権が与えられる。

開催日時	令和8年9月4日（金）～13日（日）
会場	北九州市立総合体育館
主催	アジアバレーボール連盟、バレーボールワールド、大会組織委員会
参加国	12ヶ国

3. 第6回世界身体障害者野球日本大会（WORLD DREAM BASEBALL 2026）

●2006年3月の第1回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で優勝した日本が提案し、同年11月に初開催された身体障害者野球の世界大会。

●過去5回すべて日本開催であるが、九州では初開催。

開催日時	令和8年11月21日（土）～22日（日）
会場	北九州市民球場
主催	特定非営利活動法人 日本身体障害者野球連盟
参加国	日本・韓国・台湾・アメリカ・プエルトリコの5ヶ国